

県指定文化財

「不動院楼門」の修理状況(5)

不動院の楼門を正面から見ると、門の左右には、それぞれ大きな仁王像が立っています。阿・吽の形を成すこの二体の像は、今回の楼門修理と同時に修復を行うため、門から搬出され、現在、日光市の工房で修復作業が行われています。搬出の際の調査では、吽形の仁王像の首に

墨書が発見されました。それにより、元禄8年に「寂幻」という仏師によって造られたものということが分かりました。

この「寂幻」は常総市や石岡市でも実績があり東京都分寺市の十二神将像を造ったことでも知られ、元禄期を代表する仏師の一人とされています(注)。

「不動院楼門」修理工事、見学してきました!

現在、解体工事修理が進められている「不動院楼門」で、昨年12月に不動院ご協力のもと、一般の方を対象に見学会が行われました。見学会では、まず解体中の様子や、墨書の書かれた部材などの写真をパネルに掲示し、資料とともに組み立て工事までの経過を説明。また、楼門に装飾されている龍や鳥などの、彫刻修理の基になる貴重な下絵も展示されました。

工事現場では、屋根部分の足場まで上がり、修理を請け負っている(株)石川工務店代表の石川明氏から、文化財修理の工法や、修繕した材料などの説明を受けました。また、実際に書かれてある墨書などを見学しました。

参加者の方々も熱心に写真を撮ったり、質問をしていました。文化財修理の様子を間近で見ることで、先人たちの苦勞や、職人の方々の高い技術、そして、文化財保護の大切さなどが分かっていたのだと思います。



説明を熱心に聞き入る参加者の皆さん



修復される仁王像

これらの仁王像ですが楼門とは別となり、まだ文化財の指定を受けておらず、修復は不動院の単独事業として行われています。そのため、今回新たに発見された調査結果を基に、指定文化財となるよう審議を進める予定です。

なお、この仁王像は、足から頭までの高さが2m85cmあり、台座を含めると3mを超える高さになります。楼門の修理と同時に修復される二体の仁王像ですが、この大きな像をどのように、門の中から出し入れしたのかを考えたりすると、ちよつと面白いかもしれません。

(注)「水海道の仏像 水海道市仏像彫刻悉皆調査報告書 山本勉 著」参照

58 問 谷和原庁舎生涯学習課
2111 (内線8214) ☎

文化協会主催事業

わが街をもっとよく知ろう!

街めぐりシリーズ その2

第二回目は旧谷和原地区の桜の名所と見どころめぐり

平成22年11月13日に実施した第一回の街めぐり(旧伊奈地区の史跡や市民活動施設)は、旧谷和原地区やみらい平地区の新しい市民のみなさんの参加で大変好評でした。第二回目は、主として谷和原地区のお花見の名所や、古民家や文化財のある福岡のお寺など、お花見を楽しみながら「わが街をもっとよく知ろう」という街めぐりシリーズの事業を企画しました。

▼日時: 4月2日(土)

※雨天の場合は日程変更あり

▼集合場所: 伊奈庁舎前: 午前8時30分

みらい平駅前: 午前8時40分

谷和原庁舎前: 午前8時50分

小絹コミュニティセンター: 午前9時10分

▼見学予定場所: 小絹コミュニティセンター、絹の台さくら公園、古民家(松本邸)、福岡大楽寺(文化財・木造阿弥陀如来像など)、福岡堰さくら公園、JA直売所「みらいっ娘」(買い物)

▼定員: 申し込み順に40人

▼費用: 1000円(お花見弁当、お茶、保険料など)

▼主催: つくばみらい市文化協会

▼申し込み方法: ハガキまたはFAXにて住所・氏名・年齢・電話番号を書いて『つくばみらい市文化協会事務局』宛申し込みください。

▼申込期間: 3月1日(火)~25日(金)

※結果はハガキでお知らせします。

▼申込先: つくばみらい市文化協会事務局(生涯学習課内)

〒300-2492 つくばみらい市加藤237

☎: 58-2111 FAX: 52-6025

